



NO.147

緑陽中学校の生徒が森づくりを学ぶ

里山林業体験学習



緑陽中学校では、3年生を対象に里山林業体験学習を実施しています。林業に関わる方から話を聞き、あまり知る機会のない森林の役割や森づくりを学び、視野を広げることが狙いです。

平成18年に市が主催した植樹祭で、同校の生徒たちが富ヶ岡の市有林に植樹した場所を「元気の森」と名付けたことがきっかけで始まりました。

生徒たちが毎年、下草刈りや枝払いなどを行い、森を育ててきました。

5月に今年1回目の授業が校内で行われました。石狩振興局森林室普及課職員とNPO法人森林ボランティア



樹高測定器作り(右)と測定(左)の様子



イア・メイプルの会員が、樹木の育て方や、建築素材になるまで何年かかるかなどを解説。その後、ダンボールで三角形の樹高測定器(タンジエントハイトゲージ)を作り、学校周辺の木の高さを調べました。測定器は、測定者と木の距離から高さを測ります。生徒たちは「測ってみたら、思っていたより高かったことが分かりました」と、楽しみながら学んだようです。

今後は7月と10月に行う予定で、市有林内の遊歩道の整備や、防風林の枝払いなどを行い、地域の自然環境について理解を深めます。

「授業を通して自然に親しみ、森林は人が守らなくてはいけないものだと考えてほしいです」と細川富生教諭。

生徒の皆さんが森林を大切にすることが、気持ち、持ち続けてほしいですね。



昨年の枝払いの様子

まめ記者

笑顔あふれる西の里中



西の里中学校3年
たけはな こうき
竹花航来さん
(生徒会副会長)

生徒会事務局が中心となって行っている本校の「いじめゼロ」に向けての取り組みの一部を紹介します。

まず本校では、毎年「里中の約束」をつくり、その約束をもとに「いじめゼロ」の学校を目指しています。今年の「里中の約束」は「蒼星(ブルースター)です。これは、ブルースターの花言葉「信頼」が由来で、生徒同士が信頼し合えれば、いじめが起らないと考え、この約束にしました。本校では約束のもと、生徒同士が信頼し合える学校を作り上げる事ができています。

また、年に一度「いじめゼロ集会」を行い、ワークシヨップやロールプレイ(役割演技)などを通して、いじめについての考えをさらに深めています。その後、外部の講師を招いて講演会も行っています。

これからも生徒会事務局でさまざまな活動に取り組み、みんなが仲の良い「笑顔あふれる西の里中」を作っていきます。



里中の約束